



公益財団法人がん研究会 有明病院 様
(病院)

食札の折り作業を 紙折機で効率化！

ご導入機種： **LF-S640**

会社紹介

公益財団法人がん研究会は、明治41年に設立された日本最初のがん専門機関です。有明病院では、優れた医療スタッフや先進の医療機器をそろえ、がん及び関連疾患の診断や治療で優秀な成績を挙げると共に、研究所と連携した臨床研究によって新しい治療法の開発などに意欲的に取り組んでいます。

導入の経緯・機種選定のポイント

食札発行システムの変更に伴い、B6サイズ用の紙を2つ折りする作業が必要になることから、紙折機の新規導入を検討していました。

毎日1,500枚の折り作業を行うため、「耐久性」「メンテナンス性の良さ」「設置スペースが小さい」ことを選定基準とする中で、複数の紙折機メーカーの中からデモンストレーションを経て、LF-S640を選定しました。

主なご用途

食札 B6サイズ2つ折り (シヨクサツ:入院患者さんへ食事を提供する際に使用する札)



導入の効果

年間を通して毎日折り作業がある事から、メンテナンス性の良い紙折機を探していました。

LF-S640は消耗品の交換が簡単に行え、内部の折りローラー(2本)も工具無しで取り外せるため、万が一のトラブルの際も現場で対応が出来るので安心して使っています。

枚数カウンターはセットした用紙を連続して折る「加算モード」の他に、指定枚数だけを折る「減算モード」や、枚数と待ち時間の設定が出来る「インターバルモード」もあり、枚数管理も簡単です。



この事例で使った機種は…

LF-S640

コート紙対応
アップグレードタイプ

- 速度調整静音モード
- 楽々メンテ折りローラー脱着
- コート紙対応